

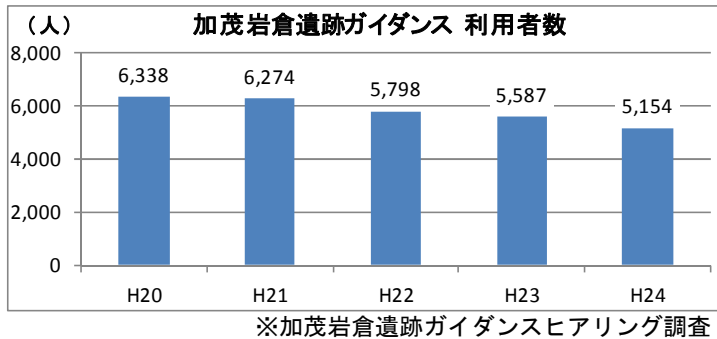
◆整備効果

加茂岩倉パーキングエリア地域拠点整備事業

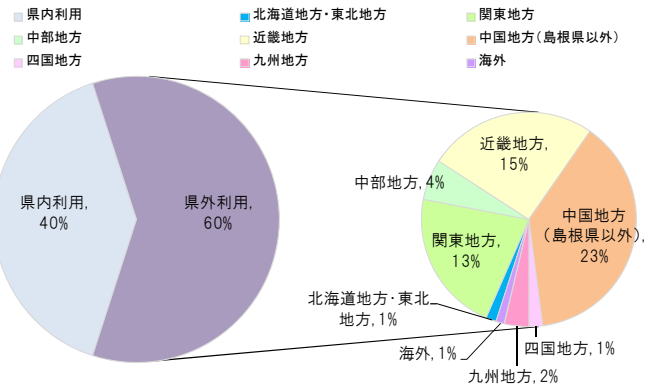
「国宝」が発見された「加茂岩倉遺跡」へのアクセス性向上による利用者の増加と雲南市の交流人口の拡大

加茂岩倉遺跡は、高速道路インターチェンジからのアクセス性が悪いなかで年間約5千人の方が来訪されており、そのうち約6割の方が県外利用となっている。地域拠点整備事業として整備することで、加茂岩倉パーキングエリアから直接本遺跡へのアクセスが可能となり、最寄りのインターチェンジから一般道路を経由する場合より**所要時間が約10分短縮**できることから、本遺跡を目的地として来訪される方が立ち寄りやすくなる。

その他、来訪者が年間20万人を超える古代出雲歴史博物館（出雲市）等との文化財ネットワークの形成や雲南市を舞台としたヤマタノオロチ伝説等の地域文化と連携することにより、古代歴史・伝説ファンを更に呼び込むことが可能となり、「学習・交流の拠点」として雲南市の**交流人口の拡大**に繋がる。



	H20	H21	H22	H23	H24	合計
県外	63%	57%	62%	56%	63%	60%
県内	37%	43%	38%	44%	37%	40%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%



古代出雲歴史博物館や荒神谷遺跡と高速道路を利用した**文化財ネットワークの形成**を図る。

【整備前】
一般道路を経由して、
・宍道ICから約8km
・三刀屋木次ICから約11km

【整備後】
PAから直接遺跡へ ⇒ **ともに約10分の時間短縮が可能**

加茂岩倉遺跡において、雲南市の地域文化情報を発信することにより、**市内への立寄りが期待**される。

加茂岩倉遺跡の利用を目的としないPA利用者に対して、本遺跡を含め近隣の歴史・文化財等の情報を発信することにより、**本遺跡へ新たな集客効果が期待**される。

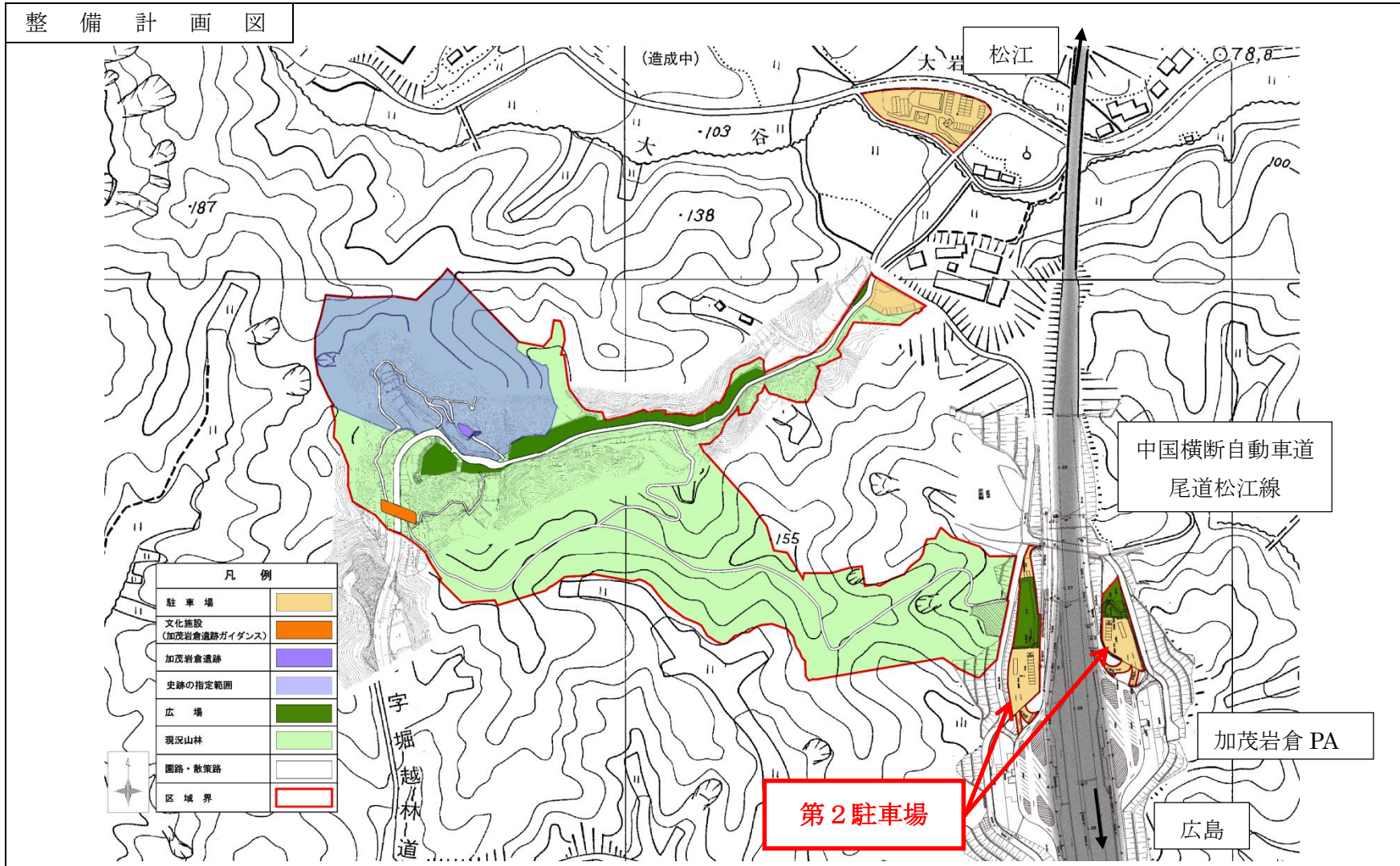
▲市の地域文化 出雲神楽やヤマタノオロチ伝説



▲ 加茂岩倉遺跡の状況

【加茂岩倉遺跡】国指定史跡
平成8年、農道工事中に発見され、全国最多の39個の銅鐸が出土し、平成20年に国宝に指定された。全国最多の銅剣が出土した荒神谷遺跡と直線距離で約3キロしか離れていないことから、古代出雲に強大な勢力が存在していたことを窺わせる。

整備計画図



整備計画図 第2駐車場

